

令和8年度 北海道蘭越高等学校

第2学年 シラバス ～年間授業計画～

教科	科目	担当	頁
国語科	国語表現	青山 望	2
地理歴史科	歴史総合	本間 詳理子	4
数学科	数学Ⅱ	岡本 敏弘・佐藤 優介	6
	数学A	岡本 敏弘	8
理科	生物基礎	田端 修	10
	地域と自然	田端 修	12
保健体育科	体育	八木橋 拓史	14
	保健	八木橋 拓史	16
芸術科	音楽Ⅱ	深澤 正之	18
英語科	英語コミュニケーションⅡ	南部 光養・大橋 満希	20
	論理・表現Ⅰ	南部 光養・大橋 満希	22
家庭科	家庭総合	浅川 寛子	24
	服飾手芸	浅川 寛子	26
商業科	簿記	斉藤 貴志	28
	情報処理	斉藤 貴志	30

教科	国語	科目	国語表現							
単位数	4単位	教科書	国表 701 国語表現」(大修館書店)							
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	国語表現 基礎練習 ノート」(大修館書店) ジャンプアップ 高校漢字問題集 改訂版」(東京書籍)							
教科の目標	言葉による見方 考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合つ力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う									
科目の目標	言葉による見方 考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合つ力を高め 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。									
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】							
趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	話すこと・聞くこと、書くこと、の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との多様な関わりの中で伝え合つ力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が養われている。							
履修上の注意	授業で使用するもの...教科書、ファイル、基礎練習 ノート、ジャンプアップ高校漢字問題集、chramebook 配布されたプリントはすべてファイルしてください。 忘れ物... 授業が始まる前に必ず申し出てください。 授業... 協働することで学習を深めます。 評価... 学習活動への取り組み、ワークシート、小テスト、単元課題 単元課題は必ず提出期限を守ってください。 評価のキーワード「取り組み 改善 完成」 小テスト... ジャンプアップ高校漢字問題集、基礎練習 ノート									
年間指導計画										
学期	月	単元 学習内容	学習活動 学習のねらい	時数			評価計画			
				話	書	読	知	思	態	評価方法
前期 (第 1 期)	4	科目オリエンテーション	科目について理解を深める。	1						学習活動への取り組み
		第 1 部】2 伝える、伝え合う レッスン1 自己紹介ゲーム	・自己紹介のやりとをとおして相互理解を図る。 話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。							
		第 1 部】4 自己PRと面接 レッスン1 自分を見つめて レッスン2 効果的な自己PR レッスン3 将来の自分を考えよう	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 ・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。	9						学習活動への取り組み ・ワークシート提出 ・小テスト ・単元課題
		第 1 部】2 伝える、伝え合う レッスン2 言葉のストレッチ体操 レッスン3 絵や写真を見て書く レッスン4 マイニュース記事を書く	・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢を持つ。 ・相手に伝えることを意識し、わかりやすい文章を書く。 ・5W 1Hを明確にして、事実と意見を区別して文章を書く。							
前期 (第 2 期)	5	第 1 部】1 言葉と出会う レッスン1 言葉と表記 レッスン2 整った文を書く レッスン3 相手に応じた言葉遣い レッスン4 わかりやすい文を書く レッスン5 文のつながり方	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・文末表現について理解する。 ・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・接続表現の種類と動きを理解する。	6						学習活動への取り組み ・ワークシート提出 ・小テスト ・単元課題
		第 1 部】5 メディアを駆使する レッスン3 電子メールを活用しよう レッスン4 ネット社会との付き合い方 レッスン5 ネットを活用した情報収集 レッスン6 メディアと情報	・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。 ・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・インターネットでの情報の検索のしかたと、その留意点について理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。							
6				11						学習活動への取り組み ・ワークシート提出 ・小テスト ・単元課題

前期 (第 期)	7	第 1部】4 自己PRと面接 レッスン4 志望理由を書こう レッスン5 自己推薦書や学修計画書 を書く	調べたいこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。 志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。	6	○	○	学習活動への取り組み ・ワークシート提出 小テスト 単元課題		
		ビブリオバトルをしよう	読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組む。 自分のお気に入りの本の魅力を聞き手を意識して話す。	3	○	○	学習活動への取り組み ・ワークシート提出 単元課題		
	8	第 2部】表現を楽しむ 2 無人島で生き残れ	課題を解決するために、建設的に話し合う 積極的に話し合いに参加し、他者の意見を尊重しつつ自分の意見を適切に述べる。	3	○	○	学習活動への取り組み ・ワークシート提出		
		第 2部】表現を楽しむ 6 働く人にインタビュー	・聞きたいことを明確にし、質問のしかたや話し方を工夫しながらインタビューする。 ・聞き取ったことを整理し、効果的な伝え方を工夫して文章にまとめる。	6			学習活動への取り組み ・ワークシート提出		
後期 (第 期)	9	第 2部】表現を楽しむ 11 演説合戦にチャレンジ	他者と協働しながら演説の内容を考える。 他者に語りかけるように筋道を立てて話す。	5	○	○	学習活動への取り組み ・ワークシート提出		
		第 1部】5 メディアを駆使する レッスン2 電話を使いこなす	相手に応じた適切な言葉遣いや応答の仕方を理解する。	2	○	○	学習活動への取り組み ・ワークシート提出		
	10	第 1部】メディアを駆使する レッスン1 通信文を書き分ける	・さまざまな通信文の形式を理解する。 相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	3	○		学習活動への取り組み ・ワークシート提出 単元課題		
		第 2部】1 言葉で遊ぶ	・さまざまな言葉あそびをとおして、言葉に興味をもち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。	1			学習活動への取り組み ・ワークシート提出		
		第 1部】3 小論文・レポート入門 レッスン1 小論文とは何か レッスン2 反論を想定して書く レッスン3 文章を読み取って書く レッスン4 統計資料を読み取って書く レッスン5 発想を広げて書く レッスン6 レポートを書く レッスン7 論文を書くために	統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。 客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。 論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。	29			学習活動への取り組み ・ワークシート提出 小テスト 単元課題		
	後期 (第 期)	11	第 2部】5 『わが町自慢』のパンフレット作り	読み手を意識し、伝えたいことをわかりやすく書く。	5			学習活動への取り組み ・ワークシート提出 単元課題	
			第 1部】6 会話 議論 発表 レッスン1 相手や場面に応じた会話 レッスン2 建設的な議論の進め方 レッスン3 スピーチをしよう レッスン4 プレゼンテーションの工夫	場面にふさわしい言葉遣いで考える。 話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設的な議論になるように協力し合う 話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・プレゼンテーションのテーマに合わせて、資料の準備や発表の準備を行う ・聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表する。	10			学習活動への取り組み ・ワークシート提出 小テスト 単元課題	
		12	第 2部】4 魅力的なポスターを作ろう	読み手の心を動かすことができるような効果的なキャッチコピーを書く。 伝えたいことが効果的に伝わるようレイアウトやデザインを工夫してポスターを作る。	14			学習活動への取り組み ・ワークシート提出 単元課題	
			2	第 2部】8 みんなで作ろう国語辞典	辞書の言葉の定義のしかたや構成要素を意識し、わかりやすく適切な説明を書く。	6			学習活動への取り組み ・ワークシート提出 単元課題
				3	第 1部】自己PRと面接 レッスン6 面接にチャレンジ レッスン7 グループディスカッションをしよう 実践トレーニング	適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 質問に対して、具体的で説得力のある答え方で答える。 ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	10		
領域別授業時数小計				49	91	授業時数合計	140		

教科	地理歴史	科目	歴史総合	
単位数	2単位	教科書	歴総 183-902 高等学校 改訂版 新歴史総合 過去との対話、つなく未来」(第一学習社)	
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	改訂版 新歴史総合ノート」(第一学習社) 「ダイアログ歴史総合 新版」(第一学習社)	
教科の目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>			
科目の目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>			
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】	
趣 旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。	
履修上の注意	ワークはテスト終了時に必ず集めます。それ以外も提出を求める場合があります。教具を忘れた場合は授業が始まる前に職員室へ報告しに来てください。授業には教科書・ワーク・資料集・クロームブックを準備して下さい。			
年間指導計画				
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	
前期 (第1期)	4	授業開き シラバス説明 世界地図と都道府県 プリントテスト	1	
		第1章 近代化と私たち 第1節 18世紀のアジアの繁栄	18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解し、表現する。	2
		テスト	1	
	5	第2節 工業化の進展と国民国家の建設	産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解し、表現する。	8
		テスト	1	
評価計画				
			知 思 態	評価方法
				授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト

前期 (第 期)	6	第3節 結びつく世界と日本の開国	18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向,日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に,立憲体制と国民国家の形成を理解し,表現する。	6			授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト
		テスト		1			
	7	第4節 帝国主義とアジア諸国の変容	列強の進出と植民地の形成,日清・日露戦争などを基に,列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解し,表現する。	6			
	8	テスト		1			
後期 (第 期)	9	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦の展開,日本やアジアの経済成長,ソヴェト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭,ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に,総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解し,表現する。	7			授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト 発表評価
		テスト		1			
	10	探究学習 台湾	3グループに分かれて,歴史・地理・文化の主題を設定し,台湾についての理解を深め,発表を行う	5			
		第2節 経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌,ファシズムの伸張,日本の対外政策などを基に,国際協調体制の動揺を理解し,表現する。	6			
		テスト		1			
後期 (第 期)	11	第3節 第二次世界大戦後の世界と日本	第二次世界大戦の展開,国際連合と国際経済体制,冷戦の始まりとアジア諸国の動向,戦後改革と日本国憲法の制定,平和条約と日本の独立の回復などを基に,第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解し,表現する。	4			授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト 発表評価
	12	第3章 グローバル化と私たち 第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国,冷戦下の地域紛争,先進国の政治の動向,軍備拡張や核兵器の管理などを基に,国際政治の変容を理解し,表現する。	4			
		テスト		1			
	1	第2節 世界秩序の変容と日本	石油危機,アジアの諸地域の経済発展,市場開放と経済の自由化,情報通信技術の発展などを基に,市場経済の変容と課題を理解し,表現する。	6			
	2	テスト		1			
	3	探究学習 現代的な諸課題の形成と展望	持続可能な社会の実現を視野に入れ,自ら主題を設定し,歴史的経緯を踏まえて,現代的な諸課題を理解し,個人で表現する。	7			

教科	数学		科目	数学			
単位数	2単位		教科書	数 711 新編 数学 」(数研出版)			
学年 必 選	2年次 必履修科目		副教材	新課程 3TRIAL 数学 」(数研出版)			
教科の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
評価の観点	知識・技能【知】		思考・判断・表現【思】		主体的に学習に取り組む態度【態】		
趣 旨	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p>		<p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。</p>		<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>		
履修上の注意							
年間指導計画				評価計画			
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思 態	評価方法
前期 (第1期)	4	第1章 式と証明 第1節 式と計算	($a + b$)の展開や、 $a + b$ の因数分解をできるようにする。 パスカルの3角形を用いて n 条の展開をできるようにする。	3			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
			整式の割り算の意味を理解し、計算できるようにする。 分母が2次程度までの分数式を扱えるようにする。	6			
	5	恒等式の性質を理解し、係数の値を求めることができる。	3				
		単元テスト		1			
前期 (第2期)	6	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	数の範囲を実数から複素数へと拡張し、2次方程式が常に解を持つことを理解させる。 2次方程式の解と係数の関係性を理解し、活用できるようにする。	7			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
		7	第2節 高次方程式	剰余の定理と因数定理を学習し活用できるようにする。	4		

前期 (第 期)	7	第2節 高次方程式	公式や因数定理を用いて、3次方程式や、4次方程式の解を解くことができるようにする。	5				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 定期考査など
	8							
	単元テスト		1					
後期 (第 期)	9	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 直線上の点 平面上の点	直線上の点の座標、2点間の距離、内分点、外分点の座標を学ぶ。 平面上の点の座標、各象限、2点間の距離、内分点、外分点の座標を学び、公式を応用できるようにする。	6				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
	10	直線の方程式 2直線の平行と垂直	傾きと切片、座標から直線の方程式が導き出せるようにする。 2直線が平行であるための条件や垂直であるための条件を理解し活用できるようにする。	13				
	11	第2節 円 円の方程式 円と直線	円の方程式を理解し活用できるようにする。 円と直線などの位置関係について理解し、共有点を求めることができるようにする。 円の接線の方程式や、円外の点から円に引いた接線の方程式を求めることができるようにする。					
	単元テスト		1					
後期 (第 期)	12	第3節 軌跡と領域 軌跡の方程式 不等式の表す領域	軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡の方程式を求めることができる。 不等式・連立不等式の表す領域の意味を理解し、その領域を図示できるようにする。	11				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
	1							
	2	第2節 等式の証明	等式の性質を理解し、等式を証明することができる。	4				
	単元テスト		1					
3	不等式の証明	不等式の性質を理解し、不等式の証明をすることができる。	4					

教科	数学	科目	数学A					
単位数	2単位	教科書	数A 104- 904改訂版 新編 数学A」(数研出版)					
学年 必 選	2年次 総合教養コース 選択履修科目	副教材	改訂版 3TRIAL 数学A」(数研出版)					
教科の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う</p> <p>(3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う</p>							
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う</p>							
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】					
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしていたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 					
履修上の注意	<p>単元テスト終了時に宿題等の回収します。</p> <p>文章題が多いので事前に教科書を読んでおくことが望ましい。</p>							
年間指導計画								
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第1期)	4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 集合の要素の個数	<ul style="list-style-type: none"> 図や表などを用いて、集合の包含関係や要素の個数など集合に関する基本的な事項を理解し、具体的な事象について考える。 	6				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
	5	順列	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面の考察を通して順列の意味を理解し、求められるようにする。 円順列、重複順列、などの意味を理解し、求められるようにする。 	6				
			単元テスト		1			
前期 (第2期)	6	組合せ	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面の考察を通して組合せの意味を理解し、求められるようにする。 組み分け、同じものを含む順列、道のりなどの複雑な問題を、組合せを利用して求められるようにする。 	7				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
	7							

前期 (第 期)	7	第2節 確率 事象と確率	<ul style="list-style-type: none"> 確率の基本的な法則を理解し、活用できるようにする。 順列や組合せの考えを用いた確率を理解し、活用できるようにする。 	8				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
	8	単元テスト		1				
後期 (第 期)	9	確率の基本性質 独立な試行の確率	<ul style="list-style-type: none"> 確率の基本性質を理解し排反事象や余事象、一般的の事象について学ぶ。 独立な試行の意味を、さいころ投げと硬貨投げの具体例をとおし理解する。 	7				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
		反復試行の確率	独立な試行の典型的な例である反復試行について、その確率を、組合せの考えを活用して求める方法を理解する。	4				
	10・11	条件つき確率	条件つき確率の意味を、くし引きの具体例を通して理解する。またベイズの定理を用いて条件付き確率を求められるようにする	5				
		期待値	期待値を理解することで、ゲームごとの有利不利の判断方法を学ぶ。	4				
		単元テスト		1				
後期 (第 期)	12	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 三角形と比 三角形の重心、外心、内心 角の2等分線と線分の比	<ul style="list-style-type: none"> 線分の垂直2等分線の作図および角の2等分線の作図などの基本性質を利用して、三角形の外心、内心について学習し、理解を深める。 平行線の性質を利用して、角の2等分線と線分の比の性質を論理的に導くことを学ぶ。 	6				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テストなど
	1	円の性質 円周角の定理 円に内接する四角形 円と直線 円と接線と弦の作る角	中学校で学んだ円周角の定理、円周角の定理の逆を復習し、基本の確認や定着を図り、円に内接する四角形について論理的に学ぶ。	4				
	2	方べきの定理 チェバの定理 メネラウスの定理	<ul style="list-style-type: none"> 方べきの定理を利用して、辺の長さを求めることができる。 チェバの定理、メネラウスの定理を利用して辺の比や長さを求めることができる。 	5				
		単元テスト		1				
	3	空間図形と多面体	オイラーの多面体の定理について理解することができる。	4				

教科	理科	科目	生物基礎
単位数	3単位	教科書	生基 183-901 改訂 高等学校 生物基礎」(第一学習社)
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	新課程版 ネオパルノート生物基礎」(第一学習社)
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う (3)自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う		
科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
履修上の注意	単元ごとにファイルを集めます。 板書を書き写すときは色ペンを使ったり見やすい工夫をしてください。		

年間指導計画				評価計画				
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第1期)	4	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性 生物の多様性と共通性	生物は多様でありながら、共通性があることを理解する。 生物の共通性の由来を理解する。	5				・取組状況 ・発問評価 ・ワークシート ・単元テスト
		生物の共通性の由来		4	○			
	5	第2節 生物とエネルギー 生物とエネルギー	生物に共通する特徴のうち、すべての生物が細胞から成り立っていることを理解する。 細胞が独自の機能をもついろいろな細胞小器官から成り立っていることを理解する。	3	○			・取組状況 ・発問評価 ・ワークシート ・単元テスト
		代謝とATP	原核細胞と真核細胞の基本的な違いについて理解する。	3	○			
		代謝と酵素	単細胞生物と多細胞生物の存在を考察させ、からだを構成する細胞は一樣ではないことを理解する。	2	○			
前期 (第2期)	6	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子の本体と構造 遺伝情報とDNA	・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解する。 ・DNA 遺伝子、ゲノムの関係性を理解する。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され、量ともに均等に分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。 ・DNAの複製は細胞周期の間期に行われることを理解する。	5				・取組状況 ・発問評価 ・ワークシート ・単元テスト
		DNAの複製と分配		5				
	7	第2節 遺伝情報とタンパク質 遺伝情報とタンパク質	生命現象にはタンパク質が関わっており、それらがDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。 ・DNAが転写・翻訳されてタンパク質になることを理解する。	3	○			・取組状況 ・発問評価 ・ワークシート ・単元テスト
		転写と翻訳	すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解する。	3				
		遺伝子とゲノム		3	○			

前期 (第 期)	第3章 ヒトのからだの調節	一定の範囲に体内環境が保たれていることを理解する。 体液濃度の調節により 体内環境が保たれていることを理解する。 ・ヒトの血糖量や体温の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解する。				取組状況 発問評価 ・ワークシート ・单元テスト
	8 第1節 情報の伝達と体内環境の維持 恒常性と神経系		6			
	9 恒常性と内分泌系 体内環境を調節するしくみ		6			
後期 (第 期)	血液凝固		5	○	○	
	10 第2節 免疫 生体防御	細胞が病原体の侵入を防ぐために、異物を認識し 排除するしくみを理解する。 ・免疫に関わる細胞について取り上げ、体液性免疫や細胞性免疫について理解する。 ・ヒトの身近な免疫疾患について理解する。	3			取組状況 発問評価 ・ワークシート ・单元テスト
	11 自然免疫		3	○		
	獲得免疫		5			
	自然免疫と獲得免疫の特徴		3	○		
	免疫と生活		3			
12 第4章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 植生と環境の関わり 遷移のしくみ	陸上には、草原や森林などの様々な植生があることを理解する。 ・植生は不変ではなく、光の量や植生をとりまく環境から影響を受けて変化していくことを理解する。 ・環境形成作用により土壌が形成されることで遷移が進行することを理解する。		4	○		
1 第2節 バイオーム 遷移とバイオーム		6	○			
後期 (第 期)	2 第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 生態系の成り立ち	生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。	4	○		取組状況 発問評価 ・ワークシート ・单元テスト
	3 生態系における生物どうしの関わり		4	○		
	3 第2節 生態系のバランスと保全 生態系の変動と安定性		4	○		
	人間活動による生態系への影響とその対策		4	○		

教科	理科	科目	地域と自然
単位数	2単位	教科書	なし
学年 必 選	2年次 総合教養コース 必履修科目	副教材	なし
教科の目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>(3)自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う</p>		
科目の目標	<p>自然環境や自然現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然環境や自然現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、自然環境や自然現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>(3)自然環境や自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う</p>		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら、自然環境や自然現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然環境や自然現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然環境や自然現象に主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
履修上の注意	成績処理週間に合わせファイルを集めます。 このシラバスはファイルにとじておいて下さい。		

年間指導計画					評価計画			
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第一期)	4	GLOBEについて	環境に関するデータを交流することにより、測定に高い正確性が要求されることを理解し、科学測定に対する責任感を高める。	3				・取組状況 ・発問評価 ・ワークシート提出
		定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2				
	5	水質調査で分かること	調査対象と測定項目の関連性について理解し、複数の測定項目を組み合わせ、水質変化の原因を推察できる。	5				
		定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2				
前期 (第二期)	6	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2				・取組状況 ・発問評価 ・ワークシート提出
		交流授業準備	異校種との授業交流の準備をすることで、相手に配慮した表現力を身に付ける。	3				
	交流授業	異校種との授業交流を実施し、自然を見つめる多様な視点を様々な世代と共有する。	3					
	7	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2				
		定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2				
8	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2					
	空気の移動と気象現象	空気塊が移動することにより、気象に変化が生じることを理解する。	3					

後期 (第 期)	9	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2			・取組状況 ・発問評価 ・ワークシート提出
		揚力と慣性モーメント	素朴な玩具を制作し、玩具の面白さを支える科学法則を理解する。	4			
	10	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2			
		課題研究	水質変化の推察を裏付けるような実験・観察を行い、根拠を持った考察ができるようにする。	6			
	11	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	2			
		実践発表会準備	校内での研究発表の準備を通して、研究内容の理解を深め、論理的に伝える思考力を高める。	6			
後期 (第 期)	12	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	1			・取組状況 ・発問評価 ・ワークシート提出
		科学屋台テーマ研究	一般市民が科学に関心を持てるような科学屋台のテーマを研究し、科学振興に寄与する態度を身に付ける。	5			
	1	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	1			
		自然災害と向き合う	自然災害の面から地域の自然を見つめ、防災の意識を高める。	3			
	2	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	1			
		気象情報を知る手段	CTIに頼らず気象情報を知る手段を身に付け、観察眼を養う	3			
		報告書作成	1年間の活動を振り返りまとめることで、学習内容を定着させる。	3			
	3	定例水質調査	尻別川の水質を調査し、水質の根拠を科学的に考察できる。	1			
		報告書作成	報告書を作成し、成果物としての表現力を高める。	3			

教科	保健体育	科目	体育					
単位数	2単位	教科書	保体 701 現代高等保健体育」(大修館書店)					
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	現代高等保健体育 ノート」(大修館書店)					
教科の目標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う</p> <p>(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う</p>							
科目の目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う</p>							
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】					
趣 旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるよう 運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。					
履修上の注意	<p>本校指定のジャージ・ハーフパンツを着用。 体調管理のために可能な限り 飲み物・着替え・タオルなどを持参。 破損・怪我防止のために腕時計は取り外し、爪は切っておく。 体調不良などで見学する場合は事前に職員室へ報告しに来て、授業にはクロームブックを持参する。</p>							
年間指導計画								
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第1期)	4	オリエンテーション・集団行動	シラバスの説明を通して、授業の流れを理解する。 ・集団行動を通して統一感や協調性を身につけ、授業を効率よく進められるようにする。	1				知識の筆記テスト 技能の観察評価 思考のタブレット記述評価 態度・発言の観察評価 ウォームアップの取組
	5	球技(バドミントン)	球技(バドミントン) ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする。	11				
前期 (第2期)	6	球技(ソフトボール)	球技(ソフトボール) ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をする	10				知識の筆記テスト 技能の観察評価 思考のタブレット記述評価 態度・発言の観察評価 ウォームアップの取組
	7	体育理論	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができる。	7				知識の筆記テスト 技能の観察評価 思考のタブレット記述評価 態度・発言の観察評価 ワークの内容評価

後期 (第 期)	9	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の 行い 方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解 するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動 の計画を立て、実生活に役立てる。	4			知識の筆記テスト 思考のタブレット記述評 価 態度・発言の観察評価 ウォームアップの取組
		陸上競技(長距離)	ペースの変化に対応して走ることをねらいとし、自らペ ース変化のあるペースを設定して走ったり、仲間のペース の変化に応じて走ったりする 蘭越町ロードレース大会に参加する	9			知識の筆記テスト 技能の観察評価 思考のタブレット記述評 価 態度・発言の観察評価 ウォームアップの取組
	10	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の 行い 方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解 するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動 の計画を立て、実生活に役立てる。	3			知識の筆記テスト 思考のタブレット記述評 価 態度・発言の観察評価 ウォームアップの取組
後期 (第 期)	11	選択 球技(バレーボール) 器械体操 ダンス	球技(バレーボール) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするな どの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行 い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方な どを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と 連携しゲームを展開する。 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きに よって空間への侵入などから攻防をする。 器械体操 技がよくなるまで自己や仲間の課題を解決したりする な どの多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、 体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解 するとともに、自己に適した技で演技する ダンス 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲 間の 課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わ い、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交 流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを 理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付け て交流や発表をする	11			知識の筆記テスト 技能の観察評価 思考のタブレット記述評 価 態度・発言の観察評価 ウォームアップの取組
	12						
後期 (第 期)	1	選択 球技(バスケットボール) 武道(柔道)	球技(バスケットボール) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するととも に、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開す る。 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによ ってゴール前への侵入などから攻防する。 武道(柔道) 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考 え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方など を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻 防を展開する。 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、 連絡技を用いて、相手を崩して投げたり抑えたりするな どの攻防をする。	11			知識の筆記テスト 技能の観察評価 思考のタブレット記述評 価 態度・発言の観察評価 ウォームアップの取組
	2						
	3	新体力テスト	新体力テストの実施	3			

教科	保健体育	科目	保健
単位数	1単位	教科書	保体 701 現代高等保健体育」(大修館書店)
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	現代高等保健体育 ノート」(大修館書店)
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通して自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通して自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
履修上の注意	ワークはテスト終了時に必ず集めます。それ以外も提出を求める場合があります。 授業には教科書・ワーク・クロームブックを準備して下さい。 忘れ物があった場合は授業が始まる前に職員室へ報告しに来てください。		

年間指導計画				評価計画				
学期	月	単元 学習内容	学習活動 学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 期)	4	3単元 生涯を通じる健康 ライフステージと健康	ライフステージと健康の関連について説明できる。 各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	1				授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト
		思春期と健康	思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	1				
		性意識と性行動の選択	性意識の男女差について例をあげて説明できる。 性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	1				
	5	妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	1				
		避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	1				
		テスト 振り返り		2				
6	6	結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	1				授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト
		中高年期と健康	加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	1				
	7	働くことと健康	働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	1				
		労働災害と健康	労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	1				
	8	健康的な職業生活	職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	1				
		テスト 振り返り		2				

後期 (第 期)	単元 健康を支える環境づくり 大気汚染と健康	大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。	1			授業態度 発問評価 ・グループワーク ・教具準備 ・ワーク内容 ・テスト	
	9 水質汚濁, 土壌汚染と健康	水質汚濁, 土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 大気, 水, 土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	1				
	環境と健康にかかわる対策	環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 産業廃棄物の処理について説明できる。	1				
	10 10	ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。	1			
	食品の安全性	食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	1				
	食品衛生にかかわる活動	食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。	1				
	テスト 振り返り		2				
後期 (第 期)	11 11	保健サービスとその活用	保健行政の役割について例をあげて説明できる。 保健サービスの活用の例をあげることができる。	1		授業態度 発問評価 ・グループワーク ・教具準備 ・ワーク内容 ・テスト	
	医療サービスとその活用	わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 さまざまな医療機関の役割について説明できる。	1				
	医療品の制度とその活用	医薬品の正しい使用方法について説明できる。 医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	1				
	12 12	さまざまな保健活動や社会的対策	国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。	1			
	健康に関する環境づくりと社会参加	健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	1				
	1 1	テスト 振り返り		2			
	2 2	探究活動	二年間、保健で学んだ分野に対して、課題を自分で決めて、PCを使用し調べ学習を行い、個人発表を行う。	6			
3 3							

教科	芸術	科目	音楽
単位数	2単位	教科書	音 701 音楽 Tutti+ (教育出版)
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	なし
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 (3) 生涯にわたって芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う		
科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
履修上の注意	ギター(学校にあります)を使用します。		

年間指導計画					評価計画			
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第1期)	4	オリエンテーション クラスの歌声を響かせよう	音楽の学習目標や学習計画を確認する。また、なじみのあるJ-POPの歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら二部合唱で歌い、音楽の学習意欲を養う。	2	○	○	○	歌唱
		「アヴェ・マリア」を歌おう、聴き比べよう	音楽の学習経験を踏まえ、音楽の学習において個性豊かな歌唱表現を創意工夫していくために、発声のエチュードや「アヴェ・マリア」を歌いながら技能を高めたり、いろいろな「アヴェ・マリア」を聴き比べながら音楽的な見方・考え方を働かせたりして、音楽の学習を豊かに展開していくための力を高める。	2			○	歌唱 鑑賞
	5	日本歌曲を歌おう	日本語の抑揚や間、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	3	○	○	○	歌唱 創作
		日本の音風景を感じ取る	四季を表した日本の伝統音楽の鑑賞を通して、四季の自然から美しさを感じ取る日本人の美意識や音の感性、我が国の伝統音楽の特徴について理解を深める。	2	○	○	○	鑑賞
前期 (第2期)	6	イタリアの歌の世界	イタリア語の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	3	○	○	○	歌唱
		音階や音素材の特徴を手掛かりに音楽をつくろう	世界や日本の様々な音階の特徴や音素材の特徴を表したいイメージと関わらせて理解し、個性豊かに創作表現を創意工夫する。	4	○	○	○	創作
		英語でポップスを歌おう	英語の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、曲にふさわしい発声や発音を身に付け、個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	3	○	○	○	歌唱
7	ヴォイス・アンサンブル&リズム・アンサンブルを楽しもう	ヴォイス・アンサンブルやリズム・アンサンブルの固有性や多様性を理解し、それらの特徴や表現上の効果を生かして歌ったり演奏したりする技能を身に付け、個性豊かに歌唱や器楽表現を創意工夫する。	3			○	歌唱 器楽	

前期 (第1期)	7	1学期の音楽学習のまとめ	1学期の音楽学習のまとめとして歌唱の実技試験とアンサンブル発表会を行い、学習内容の定着度を確認する。また、これまでの音楽学習を振り返って自己の課題を確認し、2学期以降の取り組みを考える。	2				○	歌唱 器楽
	8	2学期の音楽学習に向けて	季節の雰囲気に合わせて歌を歌いながら2学期の音楽学習への意欲を養う。また、夏季休業中につくった作品を紹介文とともに発表し、互いに批評し合いながら、各作品のよさや美しさを深く味わって聴く。	2				○	歌唱 創作
		交響曲の仕組みを探ろう	モーツァルトの「交響曲第4番」を通して、オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを深く味わって聴く。	2	○	○	○	○	鑑賞
後期 (第2期)	9	協奏曲の魅力を探ろう	ショパンの「ピアノ協奏曲第1番」を通して、独奏楽器と管弦楽の対比による独奏協奏曲の魅力进行深入して聴く。	2	○	○	○	○	鑑賞
		ドイツ歌曲の魅力	ドイツ語の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	3				○	歌唱
	フランスの歌に親しもう	フランス語の言葉の特性とシャンソンやフレンチ・ポップスにふさわしい歌い方との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	3	○	○	○	○	歌唱	
	10	名曲プレゼンテーション アメリカ大陸育ちのクラシック音楽	紹介文を作成して作曲者や楽曲の背景、特徴などをプレゼンテーションしながら、多様な文化が交差し、融合して発展したアメリカ大陸のクラシック音楽を味わう。	3	○	○	○	○	鑑賞
		アンサンブルを楽しもう リコーダーかギターを選択して	リコーダーまたはギターの中からかを選択し、各楽器の奏法を身に付け、高める。また、音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し、個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。	3	○	○	○	○	器楽
	11	吹奏楽の魅力味わおう 「オリエント急行」の旅を描くドラマ	列車が走行する様子や情景の移り変わり、旅人の心情の変化などが吹奏楽でどのように描かれているか、オーケストラの響きと比較しながらイメージ豊かに聴く。	2	○	○	○	○	鑑賞
		オーケストラの魅力味わおう 組曲と交響詩	劇音楽における場面や物語を演出する音楽の効果、音楽に文学や絵画を結び付けた交響詩を、オーケストラの壮大な響きとともに味わう。	2	○	○	○	○	鑑賞
混声合唱を美しく響かせよう		他者との調和を意識して歌いながら混声合唱の豊かな響きを味わう。また、曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	4	○	○	○	○	歌唱	
後期 (第3期)	12	名曲プレゼンテーション 演奏家と楽器が生み出す音楽の魅力	紹介文を作成して作曲者や楽曲の背景、特徴などをプレゼンテーションしながら、様々な楽器の構造や発音原理の違いによって生み出される音色に注目するとともに、独奏曲を通して奏者の表現の特徴を比較しながら鑑賞する。	4	○	○	○	○	鑑賞
		2学期の音楽学習のまとめ	2学期の音楽学習のまとめとして器楽アンサンブルと合唱の発表、独唱のテストを行い、学習内容の定着度を確認する。また、これまでの音楽学習を振り返って自己の課題を確認し、3学期以降の取り組みを考える。	2	○	○	○	○	歌唱 器楽
	1	物語と音楽との関わり	オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、また音楽と他の文化が互いにどのように影響を合して発展してきたかを考える。	4				○	鑑賞 歌唱 器楽
	2	世界の様々な音楽の魅力 和楽器の音と世界の楽器の音楽	各自が選択した和楽器の表現活動を通して音色や奏法の特徴を感じ取るとともに、諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。	4					○
世界の様々な音楽の魅力 世界の声の音楽		世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉えるとともに、諸民族の声の音楽と日本の声の音楽の比較を通して、音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。	4					○	歌唱 鑑賞
3	コンサートを開こう	1年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施する。音楽で学習した教材から選択し、クラス全体での合唱や器楽アンサンブルをしたりしながら、音楽活動の喜びや楽しさを味わう。	2					○	歌唱 器楽

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション	
単位数	2単位	教科書	C 701「A II Aboard! English Communication」(東京書籍) C 701「A II Aboard! English Communication」(東京書籍)	
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	「A II Aboard! English Communication BRIDGE WORKBOOK」(東京書籍) 新装版 夢をかなえる英単語 コメタン0中学修了～高校基礎レベル」(アルク) 新装版 夢をかなえる英単語 コメタン1大学合格必須レベル」(アルク) 「Zoom ズーム総合英語 TH RD ED IT DN」(第一学習社)	
教科の目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考え等を的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る脂質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>			
科目の目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと(やりとり)、話すこと(発表)、書くことの三つの領域(以下この節において「三つの領域」という)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、教科の目標の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、教科の目標の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1)話すこと(やりとり)</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やりとりを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いた!読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2)話すこと(発表)</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いた!読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いた!読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>			
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】	
趣 旨	日常的な話題のなかで使用されるレベルの基本的な語彙や表現を身につけている。 各単元文法において、文の語順を理解し、正しく活用することができる。	日常的な話題や社会的な話題について、論理的に文章を組み立て、適切に表現することができる。	学習の方法や表現の仕方について、改善点を探し、粘り強く取り組む中で自らの学習を調整している。また、それが伝わるように記録に残している。	
履修上の注意	授業で使用したプリントは、ファイルに綴じて保管してください。 ファイルの提出を求めることがあります。			
年間指導計画				
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	
前期 (第 期)	4	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	受け身の文について、その文構造を理解し、活用することができる。	
			浮世絵師、歌川国芳について書かれた本文を読み、情報を整理しながら要点を理解することができる。また、好きな絵について、英語で述べるができる。	
	5	Lesson 7 A Diary of Hope	比較(比較級/最上級/as...as)の文構造を理解し、活用することができる。 二つ以上のものを比べて説明することができる。	
時数	知	思	態	
				評価方法
				授業中の活動 提出物 小テスト 単元テスト パフォーマンステスト

前期 (第 期)	5	Lesson 7 A Diary of Hope	比較 (比較級 / 最上級 / as.. as~) の文構造を理解し活用することができる。 二つ以上のものを比べて説明することができる。	4		○	授業中の活動 提出物 小テスト 単元テスト パフォーマンステスト
	6						
前期 (第 期)	6	Lesson 8 A Door to a New Life	現在完了形 (経験 / 継続 / 完了) の文構造を理解し活用することができる。 「...したことがある」という経験を伝えることができる。	3		○	
		Lesson 8 A Door to a New Life	現在完了形 (経験 / 継続 / 完了) の文構造を理解し活用することができる。 「...したことがある」という経験を伝えることができる。	3		○	
	7			2		○	
		Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	分詞 (現在分詞と過去分詞) の文構造を理解し活用することができる。 人や物に「...している」「...された」という説明を加えることができる。	3		○	
	8	Lesson 10 Pigs from across the Sea	関係代名詞の文構造を理解し活用することができる。 人や物について説明を加えることができる。	2			
		Lesson 10 Pigs from across the Sea	関係代名詞の文構造を理解し活用することができる。 人や物について説明を加えることができる。	3			
後期 (第 期)	9	Lesson1 A colorful Island	関係代名詞の who を含む文の構造について理解し活用することができる。 子どものころなりたかったものについて伝えることができる。	3		○	
		Lesson1 A colorful Island	関係代名詞の who を含む文の構造について理解し活用することができる。 子どものころなりたかったものについて伝えることができる。	3			
	10	Lesson1 A colorful Island	関係代名詞の who を含む文の構造について理解し活用することができる。 子どものころなりたかったものについて伝えることができる。	3			
		Lesson2 With the Beatles	様々な比較の表現を知り適切に活用することができる。 二つ以上のものを比べて説明することができる。	3			
	11	Lesson2 With the Beatles	様々な比較の表現を知り適切に活用することができる。 二つ以上のものを比べて説明することができる。	3		○	
		Lesson2 With the Beatles	様々な比較の表現を知り適切に活用することができる。 二つ以上のものを比べて説明することができる。	4			
後期 (第 期)	12	Lesson3 Wild Men	It that 構文 / It that 構文を用いた文の構造を理解し活用することができる。 ある行動に対する意見や感想を述べるすることができる。	3		○	
		Lesson3 Wild Men	It that 構文 / It that 構文を用いた文の構造を理解し活用することができる。 ある行動に対する意見や感想を述べることができる。	4			
	1	Lesson3 Wild Men	It that 構文 / It that 構文を用いた文の構造を理解し活用することができる。 ある行動に対する意見や感想を述べることができる。	4		○	
		Lesson4 Little Hero	間接疑問文を用いた文の構造を理解し活用することができる。 間接的に自分の疑問を伝えることができる。	4			
	2	Lesson4 Little Hero	間接疑問文を用いた文の構造を理解し活用することができる。 間接的に自分の疑問を伝えることができる。	4		○	
	3	Lesson4 Little Hero	間接疑問文を用いた文の構造を理解し活用することができる。 間接的に自分の疑問を伝えることができる。	4			

教科	外国語	科目	論理 表現
単位数	2単位	教科書	論 706『V STA Logic and Expression 』(三省堂)
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	なし
教科の目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考え等を的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る脂質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>		
科目の目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと(やりとり)、話すこと(発表)、書くことの三つの領域(以下この節において「三つの領域」という)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、教科の目標の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、教科の目標の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1)話すこと(やりとり)</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やりとりを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いた、読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2)話すこと(発表)</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いた、読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いた、読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	日常的な話題のなかで使用されるレベルの基本的な語彙や表現を身につけている。 各単元文法において、文の語順を理解し、正しく活用することができる。	日常的な話題や社会的な話題について、論理的に文章を組み立て、適切に表現することができる。	学習の方法や表現の仕方について、改善点を探し、粘り強く取り組む中で自らの学習を調整している。また、それが伝わるように記録に残している。
履修上の注意	授業で使用したプリントは、ファイルに綴じて保管してください。ファイルの提出を求めることがあります。		

年間指導計画				評価計画				
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 期)	4	Lesson7 which is faster?	比較(比較級/最上級/as.. as~)の文構造を理解し、活用することができる。 色々なものの比較し、英語で表現することができる。	2			○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
		Lesson7 which is faster?	比較(比較級/最上級/as.. as~)の文構造を理解し、活用することができる。 色々なものの比較し、英語で表現することができる。	3			○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
	5	Lesson5 UFO Sightings	現在完了形(経験/継続)の文構造を理解し、活用することができる。 自分の経験したことについて、英語で説明することができる。	3			○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
		Lesson6 Homestay	現在完了形(完了/現在完了進行形)の文構造を理解し、活用することができる。 現在完了形と現在完了進行形の違いを理解し、表現することができる。	4			○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト

前期 (第 期)	6	Lesson13 Pictogram	分詞 (現在分詞 / 過去分詞) の文構造を理解し、活用することができる。 図表について説明する場面を想定し、英語で分かりやすく伝えることができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
		Lesson13 Pictogram	分詞 (現在分詞 / 過去分詞) の文構造を理解し、活用することができる。 図表について説明する場面を想定し、英語で分かりやすく伝えることができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
	7	Lesson14 Cool Japan	関係代名詞の文構造を理解し、活用することができる。 海外の人に日本文化をプレゼンする場面を想定し、英語で論理的に伝えることができる。	2		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
		Lesson14 Cool Japan	関係代名詞の文構造を理解し、活用することができる。 海外の人に日本文化をプレゼンする場面を想定し、英語で論理的に伝えることができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
後期 (第 期)	8	Lesson1 Bouldering? How nice!	現在形 (be動詞 / 一般動詞) の文構造を理解し、活用することができる。 自分のことについて英語で紹介することができる。	2			授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson2 Famous People!	過去形 (be動詞 / 一般動詞) の文構造を理解し、活用することができる。 過去のある歴史上の人物について、英語で発表することができる。	3			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
	9	Lesson3 Aquarium Adventure	現在進行形 / 過去進行形の文構造を理解し、活用することができる。 SNSで情報を発信する場面を想定し、今していること、あのときしていたことについて、英語で述べるすることができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson4 My Summer Plan	未来表現 (will / be going to) の文構造を理解し、活用することができる。 夏休みの予定について、英語で説明することができる。	3			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
後期 (第 期)	10	Lesson8 Great Inventions	助動詞 (can / may) の文構造を理解し、活用することができる。 すぐれた発明品について、英語で発表することができる。	3			授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson9 Save the Earth	助動詞 (must / have to / should) の文構造を理解し、活用することができる。 すぐれた発明品について、英語で発表することができる。	3			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
	11	Lesson10 Masterpiece	受動態の文構造を理解し、活用することができる。 さまざまな芸術作品について、英語で議論することができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
後期 (第 期)		Lesson11 My Future Job	不定詞 (名詞的用法) および動名詞の文構造を理解し、活用することができる。 自分になりたい職業について、英語で発表することができる。	4			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
	12	Lesson11 My Future Job	不定詞 (名詞的用法) および動名詞の文構造を理解し、活用することができる。 自分になりたい職業について、英語で発表することができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson12 World Heritage	不定詞 (副詞的用法 / 形容詞的用法) の文構造を理解し、活用することができる。 ホームページで世界遺産を紹介する場面を想定し、英語で情報をまとめ、分かりやすく発信することができる。	4			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
	1	Lesson12 World Heritage	不定詞 (副詞的用法 / 形容詞的用法) の文構造を理解し、活用することができる。 ホームページで世界遺産を紹介する場面を想定し、英語で情報をまとめ、分かりやすく発信することができる。	4		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson15 What's SDGs?	仮定法 (If / I wish ~) の文構造を理解し、活用することができる。 国際協力について議論する場面を設定し、英語で意見の交換をすることができる。	4			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
	2	Lesson15 What's SDGs?	仮定法 (If / I wish ~) の文構造を理解し、活用することができる。 国際協力について議論する場面を設定し、英語で意見の交換をすることができる。	4		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
	3	Lesson15 What's SDGs?	仮定法 (If / I wish ~) の文構造を理解し、活用することができる。 国際協力について議論する場面を設定し、英語で意見の交換をすることができる。	4			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物

教科	家庭	科目	家庭総合
単位数	2単位	教科書	家総 701 家庭総合 自立・共生・創造」(東京書籍)
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	家庭科資料集 LIFEおとなガイドデジタル+」(教育図書)
教科の目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人間と協働し、よき社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域御世に社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よき社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>		
科目の目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よき社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よき社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よき社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
履修上の注意	このシラバスと授業で配布したプリントは、ファイルにどしておいてください。授業には積極的に取り組んでください。提出物は期限厳守です。調理実習があります。		
年間指導計画			
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい
前期 (第 1 期)	4	第 4 章 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来	・超高齢社会の背景を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。
		2 高齢期の心身の特徴	・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。
		3 高齢者の自立を支える	・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。
	5	4 これからの超高齢社会	・これからの超高齢社会の課題を理解する。 ・自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。 単元テスト
		第 3 章 子どもと共に育つ 1 命を育む	・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。
		2 子どもの育つ力を知る	・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。
時数	知	思	態
評価方法	デジタルコンテンツワーク 単元テスト 調べ学習 意見発表		

前期 (第 期)	6	3子どもと関わる 4子どもとの触れ合いから学ぶ	・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。	4			デジタルコンテンツ ワーク ・単元テスト 調べ学習 意見発表
		5これからの保育環境	・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。 単元テスト	3			
前期 (第 期)	7	第5章 共に生き、共に支える 1私たちの生活と福祉 2社会保障の考え方	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。	7			
		3共に生きる	・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。 単元テスト	1			
	8	巻頭 各章末 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ 活動	・生活に生かそう 各章末「ホームプロジェクト」	1			
		第6章 食生活をつくる 1食生活の課題について考える	・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	3			
後期 (第 期)	9	2食事と栄養・食品	・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。	2			デジタルコンテンツ ワーク ・単元テスト 調べ学習 ・実習取り組み 調理基礎 ・プレゼンテーション
		3食品の選択と安全	・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	2			
	10	4生涯の健康を見通した食事計画	・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。 単元テスト	8			
	11	5調理の基礎	・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。	6			
後期 (第 期)	12	6食生活の文化と知恵	・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。 ・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。 単元テスト	6			
	1	7これからの食生活	・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	12			
	2	第1章 これからの生活を創造する	・生活をデザインする	2			
	3						

教科	家庭		科目	服飾手芸			
単位数	2単位		教科書	なし			
学年 必 選	2年次 総合教養コース 選択履修科目		副教材	なし			
教科の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
科目の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、創造的な手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
評価の観点	知識・技術【知】		思考・判断・表現【思】		主体的に学習に取り組む態度【態】		
趣 旨	手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。		手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。		手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		
履修上の注意	<p>このシラバスと授業で配布したプリントは、ファイルにしておいてください。 作業道具は大事に扱ってください。 提出物は期限厳守です。計画的に作業を行ってください。基本的に持ち帰りできません。 ○学んだことを発展させた自主課題に取り組み、試作を経て改善点を見いだし、最終的な作品を提出してください。</p>						
年間指導計画				評価計画			
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思 態	評価方法
前期 (第 期)	4	手縫い ミン縫い	手縫いの様々な技法について理解し、身につける。 ミンの各部位の名称、下糸・上糸のかけ方を理解する。 ミンを使った基礎的、応用的な縫い方を身に付ける。	13		○	フェルトマスコット 刺し子 ティッシュケースカ バー
	5						
前期 (第 期)	6	手芸基礎	様々な手芸基礎技術を身につける	14			羊毛マスコット つまみ細工 刺しゅう 振り返り
	7						

前期 (第 期)	8	型紙製作	洋服の構成を理解し、型紙を作成する。	2		○	アウターパンツ型紙
	9	アウターパンツの製作	洋服の構成を理解し、縫製の知識を活かして作品を完成させる。	7			布裁断技術 アウターパンツ製作 振り返り
後期 (第 期)	10	編み物の基礎	編み物の基礎を理解し、作品を作る。	8		○	編み物作品 振り返り
	11			6	○		
後期 (第 期)	12	自由課題	学習したことを活用して、自分で計画した自由課題に取り組む。	10	○	○	題材設定 調べ学習 試作品の提出 改善計画
	1						
	2						
	3	自主課題	自由課題の見直しと課題のまとめ	10	○		作品提出 振り返り

教科	商業	科目	簿記					
単位数	4単位	教科書	商業 007-904 新簿記 新訂版」(実教出版)					
学年選	2次 情報ビジネスコース 必履修科目	副教材	最新段階式 簿記検定問題集 全商3級(改訂版)(実教出版) 令和8年度版全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集3級(実教出版)					
教科の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よき社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。							
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成する。 (1)簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3)企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。							
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】					
趣旨	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。					
履修上の注意	1.社会における経営活動で扱う用語が多いですが、反復を重ねながら粘り強く取り組みましょう 2.実務に通じる科目であることを見据え、丁寧かつ見やすい字の記入を心がけましょう 3.教科書や問題集のほかに、配布プリントにもしっかり取り組み、学習の成果を積み重ねていきましょう							
年間指導計画								
学期	月	単元 学習内容	学習活動 学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第1期)	4	第1編 簿記の基礎 第1章 簿記の基礎	簿記の目的や前提条件を理解し、学習の仕方を身につける。	2				問題集進捗状況 学習プリント
		第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書	簿記の要素と貸借対照表の仕組みを理解し、資産・負債・資本の関係性を把握する。 収益・費用の意義と損益計算書の仕組みを理解する。	6				問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
		第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記	取引の分解と勘定の記入方法を理解する。 仕訳の意味と転記の仕方を理解する。	2				問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
	5	第6章 仕訳帳と総勘定元帳	仕訳帳と総勘定元帳の役割を把握し、記帳法を理解する。	3				
		第7章 試算表	試算表の意味と役割を明らかにし、記帳法を理解する。	5				問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
		第8章 精算表	精算表の意味と役割を明らかにし、記帳法を理解する。	3				
前期 (第2期)	6	第9章 決算	決算の役割と一連の流れを明らかにし、処理方法について理解する。	5				問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
		全経簿記能力検定対策演習 (基礎簿記会計)	全経協会簿記能力検定について、過去問題等を活用し、対策学習を行う	8				問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
	7	ビジネス計算実務検定学習 (普通計算)	全商協会ビジネス計算実務検定試験学習として、模擬問題を活用し、乗算・除算・見取算を学習する。	4				
				5				問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト

前期 (第 期)	8	第2編 取引の記帳 (その1) 第10章 現金・預金などの取引	現金と各預金の処理方法を理解する。	4			問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
		第1章 商品売買の取引	分記法と3分法の違いを明らかにし、処理方法を理解する。	5			
	9	第12章 掛け取引	掛け取引の役割を明らかにし、処理方法を理解する。	6			
		第13章 その他の債権・債務の取引 (その1)	様々な債権と債務の処理方法を理解する。	6			
後期 (第 期)	10	第14章 固定資産の取引	固定資産の役割を明らかにし、処理方法を理解する。	4			問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
		第15章 販売費と一般管理費の取引	販売費と一般管理費、消費税の処理方法を理解する。	4			
	11	第3編 決算整理 (その1) 第16章 決算整理 (その1)	決算整理の仕組みを把握し、処理方法を理解する。	6			問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
		第17章 8行精算表	8行精算表の記帳法を理解する。	8			
後期 (第 期)	12	第18章 帳簿決算	帳簿決算の必要性を明らかにし、処理方法を理解する。	4			問題集進捗状況 学習プリント 単元末テスト
		第4編 会計帳簿と帳簿組織 第19章 会計帳簿 第20章 伝票の利用	会計帳簿の意味と役割を理解する。 伝票の役割と種類を明らかにし、処理方法を理解する。	6			
	1	全商簿記実務検定対策演習	全商協会簿記実務検定について、過去問題等を活用し、対策学習を行う	4	8		問題集進捗状況 学習プリント
		全経簿記能力検定対策演習	全経協会簿記能力検定について、過去問題等を活用し、対策学習を行う	12			
	3	全商ビジネス計算実務検定対策演習 (普通計算・ビジネス計算)	全商協会ビジネス計算実務検定対策として、模擬問題およびプリントを活用し、制限時間を設けながら乗算・除算・見取算について学習する。	8			問題集進捗状況 学習プリント

教科	商業	科目	情報処理						
単位数	2単位	教科書	商業 007-905 最新情報処理 Advanced Computing(実教出版)						
学年 必 選	2年次 必履修科目	副教材	情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 3・4級編 (日本情報処理検定協会) 情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 2 準 2級編 (日本情報処理検定協会) 日本語ワープロ検定試験日本語ワープロ模擬問題集 3・4級編 (日本情報処理検定協会)						
教科の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。								
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。								
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】						
趣 旨	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。						
履修上の注意	(1) 積極的に演習に取り組む、コンピュータ操作のスキルを高めていきましょう (2) 話を聞くとときと作業に集中して取り組むときの切り替えをきちんとしましょう (3) 資格取得に興味を持って、積極的に受験に挑戦してください。								
年間指導計画									
評価計画									
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法	
前期 (第 1 期)	4	第 4 章 ビジネス文書の作成 節 ビジネス文書と表現	ビジネス文書の役割と種類を理解しよう	1				授業態度 プリント提出 学習課題	
		2 節 基本文書の作成	基本文書の作成方法を理解しよう	2					
		3 節 応用文書の作成	応用文書の作成方法を理解しよう	2					
	5	検定試験演習	日本情報処理検定協会主催： 日本語ワープロ検定試験模擬問題 文章入力スピーク認定試験模擬問題 等		2				授業態度 学習課題 単元末テスト
		単元末テスト	単元末テストは、実技試験と筆記試験を行う		2				
					2				
6			日本情報処理検定協会主催：各種検定試験 (6月下旬)	1				授業態度 学習課題	
				6					
前期 (第 2 期)	7	第 3 章 情報の集計と分析 節 ビジネスと統計	ビジネスにおける情報の重要性を理解し、情報を分析し、傾向を把握する力を身につけよう	1				授業態度 プリント提出 学習課題	
		2 節 関数を利用した表の作成	基本的な関数の仕組みを理解しよう	2					
		3 節 グラフの作成	基本的なグラフを作成できるようになる	2					

前期 (第 期)		1 節 情報の整列 検索 抽出	検索 整列 抽出の仕方を理解しよう	2				授業態度 プリント提出 学習課題	
	8	2 節 問題の発見と解決の方法	問題の発見と問題解決のプロセスを理解しよう	2					
		検定試験演習 単元末テスト	日本情報処理検定協会主催： 情報処理技能検定試験 (表計算) 単元末テストは、実技試験と筆記試験を行う	1					授業態度 学習課題 単元末テスト
後期 (第 期)		検定試験演習	日本情報処理検定協会主催： 日本語ワープロ検定試験模擬問題 文章入力スピーク認定試験模擬問題 等	3				授業態度 プリント提出 学習課題	
	9	第 4 章 企業活動と情報処理 1 節 情報処理の重要性 2 節 情報モラルと法規 3 節 コミュニケーションと情報デザイン	情報の意義と役割を理解し、情報とは何か考えよう 情報モラルの重要性を理解し、情報のための法規にはどのようなものがあるか把握しよう 情報デザインの重要性を理解しよう	2					
		第 5 章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1 節 コンピュータシステムの概要	ハードウェアとソフトウェアの違いを理解しよう	1					
		2 節 情報通信ネットワークのしくみと構成	情報通信ネットワークの役割とその構成を理解しよう	2					授業態度 プリント提出 学習課題
		3 節 インターネットの活用	インターネットを活用してできることを考えよう	3					
	10	4 節 情報セキュリティの確保	セキュリティ管理の重要性を理解しよう	1					
		検定試験演習	日本情報処理検定協会主催： 情報処理技能検定試験 (表計算) 日本語ワープロ検定試験模擬問題 文章入力スピーク認定試験模擬問題 等	2					授業態度 学習課題 単元末テスト
		単元末テスト	日本情報処理検定協会主催 :各種検定試験 (10月中旬) 単元末テストは、実技試験と筆記試験を行う	6					
	11			1					
	12		日本情報処理検定協会主催 :各種検定試験 (12月下旬)	7					
後期 (第 期)	1	検定試験演習	日本情報処理検定協会主催： 情報処理技能検定試験 (表計算) プレゼンテーション作成検定試験 日本語ワープロ検定試験模擬問題 文章入力スピーク認定試験模擬問題 等	2				授業態度 学習課題	
				2					
			日本情報処理検定協会主催 :各種検定試験 (2月中旬)	2					
	2	第 5 章 プレゼンテーション 1 節 プレゼンテーションの技法 単元末テスト	基本的なプレゼンテーションの技法を理解しよう 単元末テストは、実技試験と筆記試験を行う	4				授業態度 学習課題 単元末テスト	
	3	2 節 ビジネスにおけるプレゼンテーション 総合演習問題	ビジネスの場におけるプレゼンテーションの方法を理解しよう これまで学習した各種検定試験の総合問題に取り組もう	4					